

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
作業療法研究法	1	15	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
東野 幸夫	講義		301 教室／パソコン室	
目 標	作業療法研究に必要な統計解析(量的研究)について、基本(データの分類、平均、中央値、母集団、標本など)を学び、検定方法について理解し説明できる。これらの作業を Microsoft Excel を使用し、実施できるようになる。			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統計とは <ul style="list-style-type: none"> ・統計の目的 ・データの分類とものさし 2. 統計の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・度数分布とヒストグラム ・平均 ・中央値 ・最頻値 ・分散、標準偏差 3. 母集団と標本 <ul style="list-style-type: none"> ・全数調査と標本調査 ・標本抽出 4. 確率分布 <ul style="list-style-type: none"> ・試行と確率と期待値 5. 検定 <ul style="list-style-type: none"> ・データの平均の検定 ・データ分布の検定 <p>2～5について演習を行う。</p>			
教科書	標準作業療法学 作業療法研究法 第2版 適宜配布			
成 績 評 価 法	授業態度、課題提出状況及び期末レポートをもって総合評価する			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
社会保障制度特論	1	15	OT 2 年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
河本玲子 ・ 渡辺慎介	講義		301 教室	
目 標	<p>【一般目標】</p> <p>人口構成や医療技術の進歩、医療や保健・福祉の政策や制度を理解する。</p> <p>【行動目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の課題を列挙できる 2. 健康増進、介護予防例を列挙できる 3. リハに關係する診療報酬制度を説明できる 4. 地域包括ケアシステムについて説明できる 5. 地域ケア会議における OT の役割を言える 6. 精神科領域関連の社会資源を列挙し、その概要を説明できる 7. 精神科領域関連の社会資源を列挙し、その概要を説明できる 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉とは 2. 社会保障制度の課題 3. 保健・予防 4. 診療報酬とリハビリテーション 5. 地域包括ケアシステム 6. 地域ケア会議 7～8. 精神科領域関連社会資源（デイケア、訪問看護、外来作業療法、就労支援、障害年金、手帳） 			
教科書	<p>なし （参考教科書） 地域リハビリテーション論 （三輪書店）</p> <p>標準作業療法学 作業療法概論 （医学書院）</p> <p>7～8 回 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト</p> <p>精神障害作業療法学（メジカルビュー社）</p>			
成 績 評 価 法	<p>期末テスト、小テスト、レポートで総合的に判定する</p>			
備 考				

	授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
	活動・参加評価学・評価分析学	1	15	OT 2年	前期
	担当教員	授業形態		講義室	
	河本 玲子	講義		301 教室	
目 標	<p>【一般目標】 活動・参加の評価・分析ができるようになる。</p> <p>【行動目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活活動の概念と範囲を言える。 2. 各活動の過程が言える（工程分析ができる） 3. 各活動を遂行するための心身機能、環境因子が言える。 4. 各活動の障害について言える 5. 評価・分析のポイントを列挙できる。 6. 活動・参加の代表的な評価法の名称と特徴が説明できる。 				
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活活動の概念と範囲 2-5. 基本的日常生活動作の評価と分析 6. 手段的日常生活動作の評価と分析 7-8. 代表的な評価法 				
教科書	<p>作業療法学全書 第11巻 日常生活活動（協同医書出版社） 脳卒中の機能評価 SIASとFIM 基礎編（金原出版株式会社）</p>				
成 績 評 価 法	<p>期末試験、レポート等により総合的に評価する。</p>				
備 考					

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
運動器障害・内部障害評価学	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		主な講義室	
上原 奈緒子	講義		301 教室	
目 標	<p><一般目標></p> <p>運動器障害・内部障害の代表的疾患に対する基本的作業療法評価について学び、説明できる。</p>			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脊髄損傷の評価 2. 末梢神経損傷の評価 3. 関節リウマチの評価 4. 熱傷の評価 5. 呼吸器疾患の評価 6. 循環器疾患の評価 7. 内分泌疾患の評価 8. 悪性腫瘍の評価 			
教科書	<p>標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院)</p> <p>新・徒手筋力検査法 (協同医書出版社)</p> <p>適宜資料配布</p>			
成 績 評 価 法	<p>総括的評価</p> <p>授業態度、グループワークの取り組み、レポート課題、筆記試験により総合的に評価する。</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
神経障害作業評価学	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		主な講義室	
上原 奈緒子・濱本 尊博	講義		301 教室	
目 標	神経疾患、神経・筋疾患で用いられる評価の概要について学ぶ。各疾患に対してどのような評価が用いられるのかを答えることができ、その評価の内容を説明することができることを目標とする。			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害で行う評価 2. 高次脳機能障害で行う評価 3. 変性疾患で行う評価 4. 神経筋疾患で行う評価 5. 認知症で行う評価 6. 嚥下障害で行う評価 7. 脳性麻痺で行う評価 8. 自閉症スペクトラム障害で行う評価 			
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学 第2版 (医学書院) 神経診察クローズアップ (メジカルビュー)			
成 績 評 価 法	期末試験により成績を評価する。			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
神経障害作業評価学演習	1	30	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
上原 奈緒子・濱本 尊博	演習		301 教室	
目 標	<p>神経疾患、神経・筋疾患で用いられる評価の実施について学ぶ。各疾患に対して用いられる評価の内容を説明し実施できることを目標とする。評価結果やその解釈を記録、対象者やその家族および他職種に報告することができる。</p>			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害で行う評価① 2. 脳血管障害で行う評価② 3. 高次脳機能障害で行う評価① 4. 高次脳機能障害で行う評価② 5. 変性疾患で行う評価① 6. 変性疾患で行う評価② 7. 神経筋疾患で行う評価① 8. 神経筋疾患で行う評価② 9. 認知症で行う評価① 10. 認知症で行う評価② 11. 嚥下障害で行う評価① 12. 嚥下障害で行う評価② 13. 脳性麻痺で行う評価① 14. 自閉症スペクトラム障害で行う評価① 15. 自閉症スペクトラム障害で行う評価・まとめ② 			
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 (医学書院)			
成 績 評 価 法	受講態度、筆記試験、実技試験など総合的に判定する			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
精神障害作業評価学	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		講義室	
渡辺 慎介	講義		301 教室	
目 標	<p>GIO (一般目標) : 精神科作業療法における評価の流れと内容を講義並びに演習を通して理解する</p> <p>SBOs (行動目標)</p> <p>I : 精神科作業療法の歴史を説明することができる</p> <p>II : DVD鑑賞後、感じたことを表現することができる</p> <p>III : 評価の意義・流れを説明できる</p> <p>IV : 精神科リハビリテーションの考え方を列挙し、説明することができる</p>			
授 業 の 概 要	<p>1. オリエンテーション 精神科作業療法の形態や診療報酬, 精神科リハビリテーションモデルを説明することができる</p> <p>2. 映画「精神」鑑賞① 精神障害者の病態、生活像を捉える</p> <p>3. 映画「精神」鑑賞② 精神障害者の病態、生活像を捉える 感想文を作成し、自身の気持ちや考えを表現することができる</p> <p>4. 精神科作業療法評価の手順と意義を理解し説明できる・グループワーク手順説明</p> <p>5～6. 精神科作業療法評価調査(面接、作業面接、観察、他部門情報・目標設定・治療計画立案)</p> <p>7～8. 精神科作業療法評価調査内容発表・フィードバック</p>			
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害と作業療法 新版(三輪書店) ・標準作業療法学 専門分野作業療法評価学 第3版(医学書院) 			
成 績 評 価 法	<p>形成的評価:グループワーク時のフィードバック</p> <p>総括的評価:期末テスト 80%・授業態度・グループワークの取り組み方 20%</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
精神障害作業評価学演習	1	30	OT2 年	後期
担当教員	授業形態		講義室	
渡辺 慎介	演習		301 教室	
目 標	<p>GIO（一般目標）：精神科作業療法における評価の流れを理解、実施することができる</p> <p>SBOs（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関与・非関与観察を行い、評価表に沿って記録する 2. 作業療法導入面接を行い、面接で聴取すべきポイントを押さえる 3. 情報収集面接を行い、面接で聴取すべきポイントを押さえる 4. 作業面接を行い、作業遂行力評価のポイントを押さえる 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・復習 2. 観察① 対象者の 1 週間の様子を非関与観察し、評価表に記録することが出来る。 3. 観察② 関与観察における評価項目を列挙し、その項目を観察することが出来る。 4. 観察③ 3 の講義で観察された事実を評価表に記録することが出来る。 5～6. インテーク面接の概要(目的、効果)、手順、留意点を列挙、演習・記録出来る。 7. インテーク面接を経験し、手順、留意点を再度列挙、説明することが出来る。 8. 面接情報をプロセスレコードに記録し、自身の言動を振り返ることが出来る。 9. 情報収集面接(COPM、ADOC)の概要(目的、効果)、手順、留意点を列挙、演習・記録出来る。 10. 情報収集面接で得られた情報をプロセスレコードに記録し、自身の言動を振り返ることが出来る。 11. 作業面接の概要、手順、留意点を説明でき、箱作り法を実施することが出来る。 12. 作業遂行記録表に作業面接での対象者の様子を記録することが出来る。 13. 作業面接(交互色彩分割法)を実施し、手順、評価視点を説明することができる。 14. 精神科作業療法評価の流れの復習 15. まとめと試験対策 16. 期末試験 			
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害と作業療法 3 版(三輪書店) ・作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 精神障害作業療法学(メジカルビュー社) ・精神疾患の理解と精神科作業療法 第 2 版(中央法規) 			
成 績 評 価 法	<p>形成的評価:グループワーク時のフィードバック</p> <p>総括的評価:期末テスト:80%</p> <p>授業態度・グループワークの取り組み方・ファイル提出:20%</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
基礎作業治療学総論	1	15	OT2年	前期
担当教員	授業形態		講義室	
渡辺 慎介	講義		301 教室	
目 標	<p>一般目標（GIO）： 作業療法理論やプロセスモデルを理解し、作業療法士としてのアイデンティティを育む</p> <p>行動目標（SBO）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法理論を学ぶことで、作業療法士がクライアントにどのような治療をするかを理解し、説明できる 2. ひとの意志、習慣、生活バランス、環境をどのように捉えるかを知り、説明できる 3. 治療構造論を理解し、作業療法士の思考過程を説明できる 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人-作業-環境モデル(PEO モデル)を学び、その概念を説明できる 2. 作業と結びつきのカナダモデル(CMOP-E, クライアント中心の作業療法)を学び、その概念を説明できる 3. 人間作業モデル(MOHO)を学び、その概念を説明できる 意志、習慣、環境の概念と関係性を説明できる 4. 作業療法介入プロセスモデル(OTIPM)を学び、その概要を説明できる 5. 作業療法理論と実践 上記 4 つの理論と作業療法との結びつきを説明することができる 6～7. 治療構造論を通して治療計画立案方法を学び、手順を説明できる 8. 講義のまとめ 全 7 回講義の内容を列挙し、それらを説明することができる 			
教科書	<p>作業で語る事例報告 作業療法レジメの書きかた・考えかた(医学書院)</p> <p>参考書： 事例で学ぶ生活行為向上マネジメント(一般社団法人日本作業療法士協会編著)</p> <p>適宜プリント配布</p>			
成 績 評 価 法	<p>形成的評価:グループワーク時適宜フィードバックする</p> <p>総括的評価:期末試験 80% 授業態度 20%</p>			
備 考	<p>理論知らずして作業療法は語れない。専門性を養う意味でも積極的な学習態度を期待する。</p>			

	授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
	生活機能治療学	1	15	OT 2年	前期
	担当教員	授業形態		講義室	
	石丸 拓也	講義		301 教室	
目 標	<p>【一般目標】 国際生活機能分類とリハビリテーションの関連を理解する。</p> <p>【行動目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.国際生活機能分類の各構成要素と相互関係を説明できる。 2.各構成要素の具体例を列挙することができる。 3.活動の能力（できる活動）と実行状況（している活動）について説明できる。 4.促進因子と阻害因子について説明することができる。 5.目標指向型リハビリテーションについて説明することができる。 				
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1.国際生活機能分類とは 2.国際生活機能分類の構成要素と関係性について 3.心身機能・身体構造および障害について 4.活動・参加および活動制限・参加制約について 5.背景因子（環境因子・個人因子）および促進・阻害因子について 6.できる活動・している活動・する活動について 7.国際生活機能分類とリハビリテーション 8.まとめ（事例を通して） 				
教科書	<p>介護保険サービスとリハビリテーション -ICF に立った自立支援の理念と技法- （中央法規） （参考図書）</p> <p>ICF 国際生活機能分類 -国際障害分類改訂版- （中央法規）</p> <p>ICF の理解と活用 （萌文社）</p>				
成 績 評 価 法	<p>期末試験、レポート等により総合的に評価する。</p>				
備 考					

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
義肢装具学 A	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		主な講義室	
白澤 伸一	講義		301 教室／木工室	
目 標	義肢・装具の基本的な知識を習得する 義肢の適合判定の知識・技術を習得する 義肢の装着訓練の知識・技術を習得する 義肢・装具の支給にかかる制度を理解する			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 義肢装具とは. 義肢の歴史. 切断原因 2. 義肢の分類 3. 義足 4. 義手の種類・特徴① 5. 義手の種類・特徴② 6. 義手の適合判定 7. 義肢・装具の支給制度 8. まとめ 9. 期末試験 			
教科書	義肢装具学 医学書院 適宜資料配布			
成 績 評 価 法	授業態度、レポート、期末試験により総合的に評価する 義肢装具学 A と義肢装具学 B は個別に評価する。			
備 考				

	授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
	義肢装具学 B	1	15	OT 2年	前期
	担当教員	授業形態		主な講義室	
	白澤 伸一	講義		301 教室／木工室	
目 標	装具の基本的な知識を習得する 装具の適合判定の知識・技術を習得する スプリントの基本的な知識を習得する スプリント製作実習を通して製作技術を習得する				
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 装具の分類 2. 体幹・下肢装具 3. 上肢装具 4. 上肢装具のチェックポイント 5. スプリント材料の種類・特徴・製作方法 6. スプリント作成 7. スプリント作成 8. スプリント作成 9. 期末試験 				
教科書	義肢装具学 医学書院 適宜資料配布				
成 績 評 価 法	授業態度、レポート、期末試験により総合的に評価する 義肢装具学 A と義肢装具学 B は個別に評価する。				
備 考					

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
運動器障害作業療法学 A	1	15	OT 2 年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
河本 玲子	講義		301 教室	
目 標	<p>【一般目標】 運動器障害を持つ対象者に作業療法を実施できるようになるために、代表的な疾患の病態を理解し、作業療法の評価技法と治療・治療・指導・援助法を習得する。</p> <p>【行動目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.治療方法選択の基礎となる推論について説明できる。 2.作業療法の対象となる代表的な運動器障害の評価内容、治療計画が説明できる。(評価から治療の実施に至る作業療法過程を理解する。) 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動器障害のリハビリテーションと作業療法の役割 2. 作業療法の過程 3. 病期・実施場所に応じた治療・指導・援助内容 4. 脊髄損傷 1 5. 脊髄損傷 2 6. 脊髄損傷 3 7. 脊髄損傷 4 8. 熱傷 			
教科書	標準作業療法学 身体機能作業療法学 (医学書院) 図解 作業療法技術ガイド (文光堂)			
成 績 評 価 法	受講態度、レポート、中間試験、期末試験等、総合的に評価する 運動器障害作業療法学 A・B・C は個別に評価する			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
運動器障害作業療法学 B	1	15	OT 2 年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
木原 涼子	講義		301 教室	
目 標	<p>【一般目標】</p> <p>運動器障害を持つ対象者に作業療法を実施できるようになるために、代表的な疾患の病態を理解し、作業療法の評価技法と治療・治療・指導・援助法を習得する。</p> <p>【行動目標】</p> <p>代表的な運動器障害の評価内容、治療計画が説明できる。 (評価から治療の実施に至る作業療法過程を理解する。)</p>			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨関節疾患 1 (骨折総論) 2. 骨関節疾患 2 (大腿骨骨折等) 3. 骨関節疾患 3 (OA、腰痛等) 4. ハンドセラピー (モダリティプログラム) 5. 骨関節疾患 4 (上腕骨の骨折) 6. 骨関節疾患 5 (前腕骨骨折、手関節骨折) 7. 骨関節疾患 6 (手指骨折) 8. CRPS 			
教科書	<p>標準作業療法学 身体機能作業療法学 (医学書院)</p> <p>図解 作業療法技術ガイド (文光堂)</p>			
成 績 評 価 法	<p>受講態度、レポート、中間試験、期末試験等、総合的に評価する</p> <p>運動器障害作業療法学 A・B・C は個別に評価する</p>			
備 考				

運動器障害作業療法学 C	1	15	OT 2 年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
木原 涼子 授業科目	単位数	講義 時間数	301 教室 対象学年	学期
目 標	<p>【一般目標】</p> <p>運動器障害を持つ対象者に作業療法を実施できるようになるために、代表的な疾患の病態を理解し、作業療法の評価技法と治療・治療・指導・援助法を習得する。</p> <p>【行動目標】</p> <p>代表的な運動器障害の評価内容、治療計画が説明できる。 (評価から治療の実施に至る作業療法過程を理解する。)</p>			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 末梢神経損傷 1 2. 末梢神経損傷 2 3. 絞扼神経障害 4. 腱損傷 1 (屈筋腱) 5. 腱損傷 2 (伸筋腱) 6. 関節リウマチ 1 7. 関節リウマチ 2 8. 関節リウマチ 3 			
教科書	<p>標準作業療法学 身体機能作業療法学 (医学書院)</p> <p>図解 作業療法技術ガイド (文光堂)</p>			
成 績 評価法	<p>受講態度、レポート、中間試験、期末試験等、総合的に評価する</p> <p>運動器障害作業療法学 A・B・C は個別に評価する</p>			
備 考				

内部障害作業療法学 A	1	15	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
上原 奈緒子	講義		301 教室	
目 標	内部障害に対する作業療法の概要を理解し，呼吸器疾患・循環器疾患に対する作業療法の進め方（作業療法の意義，目的，方法）について学び，説明できる．			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部障害の作業療法概論 2. 呼吸器疾患作業療法 作業療法評価 3. 呼吸器疾患の作業療法 作業療法介入 4. 呼吸器疾患の作業療法 作業療法介入 5. 循環器疾患の作業療法 作業療法評価 6. 循環器疾患の作業療法 作業療法介入 7. 循環器疾患の作業療法 作業療法介入 8. まとめ 			
教科書	標準作業療法学 身体機能作業療法学 作業療法技術ガイド 第3版 文光堂			
成 績 評 価 法	内部障害作業療法学 A, B の出席・成績は、それぞれ1科目として個別に取り扱う。 期末テスト、小テスト、課題などにより総合的に評価する。			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
内部障害作業療法学 B	1	15	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
上原 奈緒子	講義		301 教室	
目標	内部障害に対する作業療法の概要を理解し，内分泌代謝疾患，悪性腫瘍に対する作業療法の進め方（作業療法の意義，目的，方法）について学び，説明できる．			
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部障害の作業療法概論 2. 内分泌代謝疾患の作業療法 作業療法評価 3. 内分泌代謝疾患の作業療法 作業療法介入 4. 内分泌代謝疾患の作業療法 作業療法介入 5. 悪性腫瘍の作業療法 作業療法評価 6. 悪性腫瘍の作業療法 作業療法介入 7. 悪性腫瘍の作業療法 作業療法介入 8. まとめ 			
教科書	標準作業療法学 身体機能作業療法学 作業療法技術ガイド 第3版 文光堂			
成績評価法	内部障害作業療法学 A, B の出席・成績は、それぞれ1科目として個別に取り扱う。 期末テスト、小テスト、課題などにより総合的に評価する。			
備考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
神経障害作業療法学 A	1	15	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
上原 奈緒子	講義		301 教室	
目 標	神経障害を生じる代表的疾患に対する基本的な作業療法の進め方（作業療法の意義、目的、方法）について学び、説明できる。			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害の作業療法① 2. 脳血管障害の作業療法 ② 3. 脳血管障害の作業療法③ 4. 外傷性脳損傷の作業療法 5. パーキンソン病の作業療法 6. 筋萎縮性側索硬化症の作業療法 7. 脊髄小脳変性症の作業療法 8. 神経筋疾患の作業療法 			
教科書	標準作業療法学 身体機能作業療法学			
成 績 評 価 法	神経障害作業療法学 A, B, C の出席・成績は、それぞれ1科目として個別に取り扱う。期末テスト、小テスト、課題などにより総合的に評価する。			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
神経障害作業療法学 B	1	15	OT 2 年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
森本・久保	講義		301 教室	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障害児、情緒障害児を理解し、治療的アプローチができる。 ・ 感覚統合療法について理解し、自閉性障害児の特性が理解できる。 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感覚統合理論について 2. 感覚統合における発達 3. 感覚統合機能に対するアプローチ ① 4. 感覚統合機能に対するアプローチ ② 5. 姿勢と運動へのアプローチ ① 6. 姿勢と運動へのアプローチ ② 7. その他の疾患（知的障害、筋ジストロフィー、二分脊椎、分娩麻痺） 8. まとめ 			
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学 第 2 版（医学書院） 知りたかった！PT・OT のための発達障害ガイド（金原出版株式会社）			
成 績 評 価 法	期末テストによって判定する。 神経障害作業療法学 A、B、C はそれぞれ個別に評価する。			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
神経障害作業療法学 C	1	15	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
上原 奈緒子	講義		301 教室	
目 標	高次脳機能障害に対する基本的な作業療法の進め方（作業療法の意義，目的，方法）について学び，説明できる。			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 失語に対する作業療法 2. 失行(運動, 行為の障害)に対する作業療法 3. 失認(対象認知の障害)に対する作業療法 4. 半側空間無視に対する作業療法 5. 記憶障害に対する作業療法 6. 注意障害に対する作業療法 7. 遂行機能障害に対する作業療法 8. 社会的行動障害に対する作業療法 			
教科書	標準作業療法学 高次脳機能作業療法学			
成 績 評 価 法	神経障害作業療法学 A, B, C の出席・成績は、それぞれ1科目として個別に取り扱う。期末テスト、小テスト、課題などにより総合的に評価する。			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
精神障害作業療法学 A	1	15	OT2 年	後期
担当教員		授業形態	講義室	
渡辺 慎介		講義	301 教室	
目 標	GIO（一般目標） I：精神科作業療法計画を立案する上で重要な治療理論を理解する SBOs（行動目標） I：回復状態に応じた治療介入法を具体的に述べる II：精神科作業療法の主たる対象疾患の基本的介入方法を説明することができる			
授 業 の 概 要	1. オリエンテーション 精神科作業療法に関する治療的枠組みの復習 2～3. 回復状態に応じた作業療法(急性期・回復期・維持期)を知り、対象者の状態に合わせた治療を実施するための基礎知識を身につける。 4～8. 統合失調症に対する介入ポイントを理解し、説明できる。			
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害と作業療法 新版(三輪書店) ・作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 精神障害作業療法学 改訂第2版(メジカルビュー社) ・精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版(中央法規) 			
成 績 評 価 法	形成的評価:グループワーク時のフィードバック 総括的評価:期末テスト 80%・授業態度・グループワークの取り組み方 20%			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
精神障害作業療法学 B	1	15	OT2 年	後期
担当教員		授業形態	講義室	
渡辺 慎介		講義	301 教室	
目 標	<p>GIO（一般目標） I：精神科作業療法の主たる対象疾患の基本的介入方法を説明することができる</p> <p>SBOs（行動目標） I：気分障害に対する介入ポイントを理解し、説明できる II：神経症に対する介入ポイントを理解し、説明できる III：人格障害・摂食障害に対する介入ポイントを理解し、説明できる IV：依存症・てんかんに対する介入ポイントを理解し、説明できる</p>			
授 業 の 概 要	<p>1～2. 気分障害に対する介入ポイントを理解し、説明できる 3～4. 神経症に対する介入ポイントを理解し、説明できる 5～6. 人格障害・摂食障害に対する介入ポイントを理解し、説明できる 7～8. 依存症・てんかんに対する介入ポイントを理解し、説明できる</p>			
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害と作業療法 第3版(三輪書店) ・作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 精神障害作業療法学 改訂第2版(メジカルビュー社) ・精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版(中央法規) 			
成 績 評 価 法	<p>形成的評価:グループワーク時のフィードバック 総括的評価:期末テスト 80%・授業態度・グループワークの取り組み方 20% 精神障害作業療法学 A と B は合算して成績判定する(1科目として試験実施)</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
老年期障害作業療法学	1	15	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
中村 敏浩	講義		301 教室	
目 標	高齢社会といわれるわが国の現状をふまえ、高齢期の心身の変化や障害に対する知識を深め、高齢者に対する作業療法について学習する。			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢社会および高齢期の特徴 2. 高齢期に多い疾患 3. 高齢期のリスク 4. 認知症 5. 認知症ケアアセスメント 6. 作業療法評価 7. 作業療法評価方法の実施 8. 作業療法による介入 			
教科書	標準作業療法学 高齢期作業療法学 (医学書院) 随時資料配布			
成 績 評 価 法	授業への参加態度、課題、期末試験などにより総合的に評価する。			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
老年期障害作業療法学演習	1	30	OT 2 年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
東野 幸夫	演習		301 教室	
目 標	<p>高齢者に対する作業療法実践の過程について学習する。 病期・実施場所に応じた治療・訓練・援助・指導の実際を学習する。</p>			
授 業 の 概 要	<p>9. 病期に応じた作業療法の実際① 急性期 10. 病期に応じた作業療法の実際② 回復期 11. 病期に応じた作業療法の実際③ 生活期 12. 病期に応じた作業療法の実際④ 終末期 13. 介護老人保健施設における作業療法の実際 14. 通所リハビリテーションにおける作業療法の実際 15. 訪問リハビリテーションにおける作業療法の実際 16. 地域生活の支援における作業療法の実際 17. 高齢期作業療法の実践過程 18. 病期・実施場所に応じた治療・援助内容 19. 一般の高齢者に対する作業療法 20. 要支援の高齢者に対する作業療法 21. 要介護の高齢者と終末期の高齢者に対する作業療法 22. 認知症の高齢者に対する作業療法 23. まとめ</p>			
教科書	<p>標準作業療法学 高齢期作業療法学 第3版 (医学書院) 随時資料配布</p>			
成 績 評 価 法	<p>授業への参加態度、課題、期末試験などにより総合的に評価する。</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
地域リハビリテーション概論	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		主な講義室	
東野 幸夫	講義		301 教室	
目 標	<p>【一般目標】</p> <p>地域とは何かを理解し、障害を持って地域の中で生活していくことを支援していくことの重要性を学ぶ。</p> <p>【行動目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.地域リハの定義を言える 2.地域リハの活動指針・視点を言える 3.病期別リハの特徴を言える 4.直接的支援活動例を列挙できる 5.組織化活動例を列挙できる 6.教育・啓発活動例を列挙できる 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1-3.地域リハとは 4.地域リハの歴史 5.地域リハとリハ医療 6.直接的支援活動 7.組織化活動 8.教育・啓発活動 			
教科書	地域リハビリテーション論 (三輪書店)			
成 績 評 価 法	期末テスト、小テスト、レポートで総合的に判定する			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
地域作業療法学	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		主な講義室	
東野 幸夫	講義		301 教室	
目 標	<p>【一般目標】</p> <p>地域で安心安全な暮らしを構築できるための作業療法の実際を知る。</p> <p>【行動目標】</p> <p>1.介護保険の目的・理念を言える</p> <p>2.介護保険サービス利用の流れ、サービスの種類・支給限度額を言える</p> <p>3.訪問・通所・入所のサービス例を列挙できる</p> <p>4.訪問・通所・老健の OT の役割を言える</p> <p>5.OT の取り組み例を挙げることが出来る</p> <p>6.地域 OT の役割を事例を通し説明することが出来る</p>			
授 業 の 概 要	<p>1. 介護保険制度（概要、仕組み）</p> <p>2. 介護保険制度（サービス）</p> <p>3. 地域包括ケアシステム</p> <p>4. 介護保険における OT の役割 1</p> <p>5. 介護保険における OT の役割 2</p> <p>6. 介護保険における OT の役割 3</p> <p>7. これからの地域 OT</p> <p>8. 事例検討</p>			
教科書	<p>適宜資料を配布する</p> <p>地域リハビリテーション論 （三輪書店）</p>			
成 績 評 価 法	<p>期末テスト、小テスト、レポートで総合的に判定する</p>			
備 考	<p>授業の進捗状況により、学習内容が前後することがある。</p>			

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
生活環境論	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		主な講義室	
東野 幸夫	講義		301 教室	
目 標	各福祉用具の種類、対象、使用法、禁忌が説明できる。 作業療法士として、対象者の生活支援の技術として福祉用具の選定を行うことができる。			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用語・定義・法律 2. ベッド、ベッド周辺機器 3. 移動、移乗用具 車いす 4. 自助具作成 5. リフト、吊具 6. 入浴・排泄用具 7. コミュニケーション用具 8. まとめ 			
教科書	作業療法学全書 「作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備」 (協同医書出版社) 適宜資料配布			
成 績 評 価 法	期末試験にて評価する			
備 考	この授業では単なる用具の紹介ではなく、実際に触れてその使用感や操作の方法を体験してもらいたい。積極的な授業への参加を希望します。			

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
生活環境論演習	1	30	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
濱本 尊博	演習		301 教室	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の福祉用具を実際に使用することで、その使用感を体験することができる。 ・住宅改修に必要な基礎知識を学び、その内容を説明できる。 ・住宅改修事例を通して、作業療法士に必要な生活と住環境の捉え方が説明できる。 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベッド・ベッド周辺機器 2. 移動、移乗用具 3. 車いす 4. リフト、吊具 5. 入浴・排泄用具 6. コミュニケーション用具 7. 住宅改修の基礎知識 8. 住宅改修の検討事項 9. 屋外の段差の解消 10. 玄関、廊下の段差の解消 11. 手すりの設置 11. トイレの改修 13. 浴室の改修 14. 住宅改修事例① 15. 住宅改修事例② 			
教科書	作業療法学全書 「作業療法技術学 2 福祉用具の使い方・住環境整備」 (協同医書出版社) 適宜資料配布			
成 績 評 価 法	期末試験およびレポートにて評価する			
備 考	福祉機器展への見学実習			

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
発達支援・職業関連支援論	1	15	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		主な講義室	
徳本 武司	講義		301 教室	
目 標	<p>学齢児の教育を支援するための、作業療法評価および支援技術について述べることができる。</p> <p>就労して社会参加を望む対象者に適切な就労支援を行うために、作業療法士の役割と支援の手順が説明できる。</p>			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習レディネスの発達 2. 評価の視点 3. 支援の方法① 4. 支援の方法② 5. 職業・就労とはなにか 6. 障害者にとっての職業の意義について 7. わが国の就労支援の現状 8. 障害者の就労支援の実際 			
教科書	<p>参考文献：標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学（医学書院）</p> <p>作業療法学全書 第12巻 職業関連活動（協同医書出版社）</p> <p>適宜資料配布</p>			
成 績 評 価 法	<p>期末試験およびレポートにて評価する</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
基礎作業評価技術論Ⅱ-A	1	15	OT 2年	前期
担当教員	授業形態		主な講義室	
鎌田・倉重	講義		301 教室	
目 標	様々な発達の遅れに関する検査項目を選択し、実施することができる			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動発達の評価① 粗大運動の発達 2. 運動発達の評価② 巧緻運動の発達 3. 認知発達の評価 4. 感覚発達の評価 5. 言語発達の評価 6. ADL 発達の評価 7. 遊びの発達の評価 8. 社会適応の発達の評価 			
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学 第2版 (医学書院) PT・OTのための発達障害ガイド (金原出版株式会社)			
成 績 評 価 法	期末試験にて評価する			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
基礎作業評価技術論Ⅱ-B	1	15	OT2年	後期
担当教員		授業形態	講義室	
渡辺 慎介		講義	301 教室	
目 標	<p>一般目標 (GIO) : 作業療法士としてクライアントを理解する手法と共に自己理解を促す手法を身につける</p> <p>行動目標 (SBO) :</p> <ol style="list-style-type: none"> 自身の対人パターンや集団内における自身の居場所を客観的に捉えることができる セラピストとして必要な基本的治療的態度を身につけ、演習で実践できる ひとの集団関係技能を発達的に理解し、説明できる 集団療法の効果とその構造を理解し説明できる 自己実現理論を通して、人が成長し老いることのプロセスを自分なりに表現することができる 作業療法評価における代表的なアセスメント法の使い方を理解し、実践することで概要を説明することができる 			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション, 交流分析法(エゴグラム)、ソシオグラムを体験的に理解し、自己理解、他者理解できる 2~3. セラピストに必要な治療的態度(傾聴、共感的理解、受容)を体験的に理解し、要点を説明することができる 4~5. Mosey の集団関係技能, 集団治療因子, 集団構造因子といった集団に関する知識を得、各項目も意味を説明することができる 6. 認知行動療法, 心理教育, 病識, 家族研究, 薬物療法といった精神科領域における治療法を列挙し、それぞれの概要を説明することができる 7. マズロー自己実現理論, 情報処理理論の概念を理解し、説明することができる 8. 講義のまとめ 			
教科書	<p>1~3: 資料配布</p> <p>4・5: 標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第3版 (医学書院)</p> <p>6・7: 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 精神障害作業療法学(メジカルビュー社)</p>			
成 績 評 価 法	<p>形成的評価: グループワーク時適宜フィードバックする</p> <p>総括的評価: 期末試験 80% 授業態度 20%</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
作業評価技術論 A	1	15	OT2 年	前期
担当教員		授業形態	講義室	
東野 幸夫		講義	301 教室	
目 標	<p>一般目標（GIO）：体験実習時，包括的にケースを捉える際に必要な ICF の概念を理解できる</p> <p>行動目標（SBO）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICIDH と ICF の違いを説明できる 2. 生活機能 3 項目と背景因子それぞれの概念を説明できる 3. 主観的側面を説明し，捉えることができる 4. ICF 各項目の因果関係を説明することができる 5. ケースを通して上記 1～4 を理解する 			
授 業 の 概 要	<p>1～4. ケーススタディを通して ICF の概念を理解し，因果関係の分析，全体像のまとめをすることができる(精神障害領域)</p> <p>5～8. ケーススタディを通して ICF の概念を理解し，因果関係の分析，全体像のまとめをすることができる(身体障害領域)</p>			
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ICF 国際生活機能分類-国際障害分類改訂版-(中央法規) ・介護保険サービスとリハビリテーション-ICF に立った自立支援の理念と技法-(中央法規) 			
成 績 評 価 法	<p>形成的評価:グループワーク時適宜フィードバックする</p> <p>総括的評価:レポート提出 80% 授業態度 20%</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
作業評価技術論 B	1	15	OT2 年	後期
担当教員		授業形態	講義室	
東野 幸夫		講義	301 教室	
目 標	<p>身体機能評価である ROM - T と MMT の基本的な目的、方法を理解し、留意点等を説明できる。</p> <p>グループワークを通して、基本的な方法を実践できる。</p>			
授 業 の 概 要	<p>1～4. 関節可動域検査 基本的留意点の理解と実践</p> <p>5～8. 徒手筋力検査法 基本的留意点の理解と実践</p>			
教科書	標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版(医学書院)			
成 績 評 価 法	<p>形成的評価:ケーススタディ時に随時フィードバック</p> <p>総括的評価:レポート</p>			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
障害者支援技術演習Ⅱ-A	1	30	OT 2年	前期
担当教員		授業形態	講義室	
上原 奈緒子		演習	301 教室	
目 標	<p>【一般目標】</p> <p>医療人としての倫理観を修得することができる。</p> <p>臨床体験実習の内容・目標を理解することができる。</p> <p>職業人としての基本的な態度を修得することができる。</p> <p>【行動目標】</p> <p>実習課題を遂行することができる。</p> <p>実習で得た体験やインタビュー内容をまとめることができる。</p> <p>報告会で実習体験を発表することができる。</p>			
授 業 の 概 要	<p>(実習前)</p> <p>1-2. 臨床体験実習とは (実習目標・実習に関わる規定・実習課題)</p> <p>実習注意事項・実習関係書類の記載方法・個人情報保護・医療倫理・職業人としての基本的態度, 実習に関するアンケート配布</p> <p>3-4. 実習施設情報収集 (実習施設発表)</p> <p>5-8. 実習関係書類作成・疾患・症状について事前学習</p> <p>9-10. 体験実習ガイドブック説明</p> <p>11. 実習直前ゼミ (目標・注意事項の再確認, 実習指導者への連絡)</p> <p>(実習後)</p> <p>12. 実習後ゼミ (実習振り返り)</p> <p>13. 実習報告会</p> <p>14. 実習報告会</p> <p>15. 実習報告会</p> <p>16. まとめ. 実習報告会</p>			
教科書	体験実習ガイドブック			
成 績 評 価 法	参加態度, 実習指導者による実習成績, 報告会などを総合して行う。			
備 考				

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
障害者支援技術演習Ⅱ-B	1	30	OT 2年	前・後期
担当教員		授業形態	講義室	
石丸 拓也		演習	301 教室	
目 標	<p>【一般目標】 学会，研修会，症例検討会，また，種々のボランティア活動への参加などを通して，作業療法に関連する幅広い見識をもつことができる。</p>			
授 業 の 概 要	<p>学会への参加 家族会や地域の介護施設等でのボランティア活動への参加 領域別レクリエーション企画 等</p> <p>1.オリエンテーション 4月 2-5.山口県作業療法学会 10月頃 事後レポート（1コマ分） 提出期限：学会参加後一週間 6-10.領域別レクリエーション企画，発表（後期） 事後レポート（1コマ分）提出期限：企画終了後一週間 11-15.ボランティア参加（前後期） 掲示等から自身でボランティア場所を探し，先方に連絡を取り活動 事後レポート（1コマ分）</p>			
教科書	特に定めない			
成 績 評 価 法	参加態度，レポート等により総合的に評価する。			
備 考	<p>ボランティアの参加については，学生個人個人が主体的に先方と連絡を取り，日程調整をすること。施設によっては依頼書が必要になる場合もあるため，その場合は教員に相談すること。また，ボランティア中に得た情報は個人情報保護の観点からみだりに口外しないこと。レポートにおいても個人情報が特定できない形で記述すること。</p>			

授業科目	単位数	時間数	対象学年	学期
運動学実習	1	30	OT 2年	後期
担当教員	授業形態		講義室	
濱本尊博	実習		レク室	
目 標	活動の基本となる姿勢および立ち上がり動作などを観察し、運動学用語を用いて説明することができる。			
授 業 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖見学①（前期に実施） 2. 解剖見学②（前期に実施） 3. オリエンテーション/立ち直り反応の観察① 4. 立ち直り反応の観察まとめ② 5. 立位姿勢の観察まとめ① 6. 立位姿勢の観察まとめ① 7. 関節可動域測定（総論・上肢）① 8. 関節可動域測定（上肢） 9. 関節可動域測定（上肢） 10. 関節可動域測定（上肢） 11. 関節可動域測定（下肢） 12. 関節可動域測定（下肢）・肩甲骨上腕リズムの観察① 13. 肩甲骨上腕リズムの観察② 14. 立ち上がり動作の分析① 15. 立ち上がり動作の分析②・まとめ 			
教科書	解剖学・運動学で使用した教科書類をすべて参考図書として使用する。 その他、随時資料を配布する。			
成 績 評 価 法	各課題ごとにレポートを課し、授業態度（能動的な取り組み姿勢やグループでの協力状況）と合わせて総合的に評価する。			
備 考	実習衣の着用を原則とするため、実習衣にふさわしい頭髪や爪などで授業に臨むこと。			

臨床実習 A	1	45	OT2 年	前期
担当教員	授業形態		講義室	
渡辺 慎介・OT 教員	実習		県内各実習施設	
目 標	<p>一般目標（GIO）： 医療人を志すにふさわしい自主性、積極性、社会性を養うとともに、疾患に対する知識を深める。ICF の構成概念を理解したうえでケースの情報を整理し、ICF 整理シートを活用してケースの全体像を把握することができる。</p> <p>行動目標（SBO）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①常識的態度や責任のある行動をとることができる。 ②患者様（家族）と望ましい人間関係をもつことができる。 ③意欲的に取り組む姿勢（探求心・創造性）をもつことができる。 ④自らが設定した行動目標を達成するために取り組むことができる。 ⑤ICF の構成概念を理解したうえで 1 ケースの情報収集を実施し、ICF の概念に沿って包括的に捉えることができる。 			
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習 A 実習期間 7 月 30 日(月)～8 月 3 日(金) ・実習報告会 8 月中旬予定 ・実習準備に関わる講義は、障害者支援技術演習 II・A で行う 			
教科書				
成 績 評 価 法	<p>総括的評価:実習指導者による評定(優・良・可・不可)</p> <p>実習報告会にて内部教員による評定</p> <p>上記 2 つを勘案して実習成績を評定する</p>			
備 考				